

奄美の現状から学ぶチーム医療の重要性

～持続可能な奄美の医療環境の構築をめざして～

大島高校 3年 屋井姫詩 龍麻央

1. 探究動機

- ・ 離島であることのハンデ→県本土より、遅れているのでは？
- ・ 将来、医療に携わりたい→医療に対する知識を増やしたい

奄美と県本土との医療体制の違いって？

奄美の今後の医療はどうなっていく？

2. アンケート調査

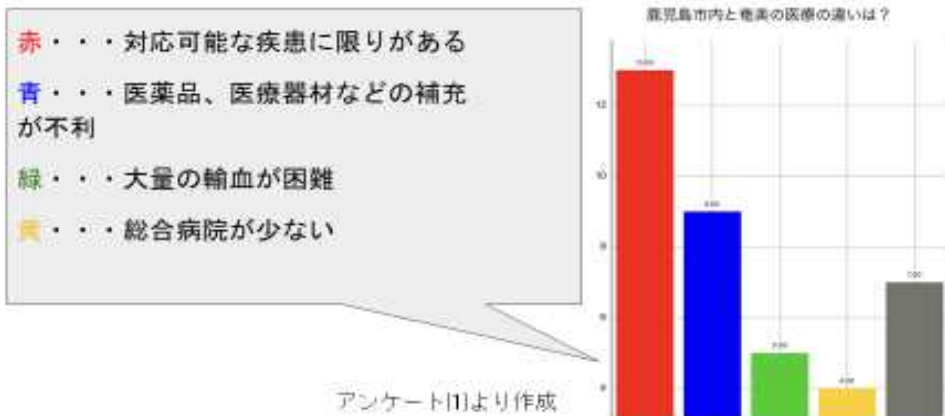
日時: 2022年6月15日～6月24日 方法: アンケート用紙に各自記入

アンケート対象: 鹿児島県立大島病院 救命救急センター看護師 32名

〈内容〉

- (1) 奄美と鹿児島本土の医療の違い
- (2) 高齢化の進行による奄美の医療体制の今後の変化

(1) 奄美と鹿児島本土の医療の違い



(2) 高齢化の進行によって...

奄美の医療体制は今後...

「在宅医療」

「訪問看護」

などの需要が高まる

今後の奄美の医療のために何が必要？

- 介護、介助が必要な方の減少
- 医療機関の利用者数を減少
- 医療従事者の負担を軽減

全体の約7割の人が在宅介護を希望



3. ラジオ体操大作戦

島民が健康になり、奄美のチーム医療を持続させるために！

ラジオ体操

健康向上

負担軽減

患者数の減少=医療従事者の負担軽減

企画協力者

岡山嗣夫さん (79歳) NHK ラジオ体操一級指導士

保健代理店勤務 40歳男性

イベントの際に、ラジオ体操の説明、模範演技をして頂いた。

ラジオ体操の運動効果 岡山さん推薦の資料より

① 体力の維持と筋力アップ

意識的に体を動かすことで筋肉の収縮を図る！

② 筋ポンプ作用効果

腕や足を動かすことで全身の血液の流れを良くする！

③ 消化器官を刺激

刺激を与えることで、食べ物が胃や腸を通る働きを助ける！

ラジオ体操大作戦の特徴

集団で取り組む→モチベーションを保ち、継続しやすい→健康維持へ

ラジオ体操大作戦の取り組みやすさ

① 夏休みに多くの地域でラジオ体操が集落放送され、

小中学生や地域の方が毎朝行っている

② 「島ラジオ体操」

奄美市、笠利町、龍郷町、大和村、喜界島、徳之島など8地域のバージョンがある

⇒「ラジオ体操大作戦」は、奄美と相性がいい!!

企画

期日: 3月25日土曜日～3月31日金曜日(7日間)

時間: 午前9時半～午前10時半 場所: AiAi ひろば

対象: 子供からお年寄りまで幅広い世代の方

内容: 1, イベント前に参加者にスタンプラリーカード配布、

血圧を測定してもらう

2, イベント開始、趣旨説明

3, 講師紹介

4, ラジオ体操第1の説明

①～③の運動のポイントや効果の説明

5, ラジオ体操第1実践

6, スタンプラリー 終了

結果・考察

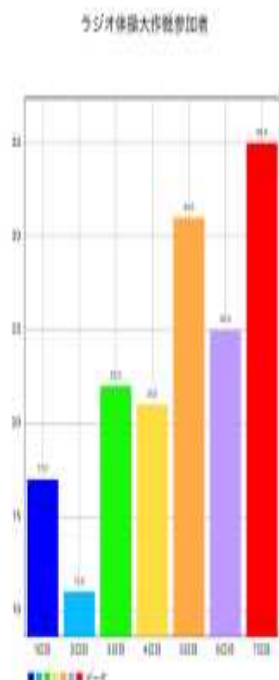
〈参加者〉

2日目～3日目

参加者を増やすため、民生協議会へ行き、各地区の方にイベントの内容について伝えてもらう。

すると、3日目から参加者が増加！

(参加者の多くは、60～80歳の方)



イベント終了後の参加者の声

Q ラジオ体操はどのような効果があったか？

- ・ よく眠れるようになった
- ・ 寝起きがよくなった。
- ・ 4日目あたりから体が軽くなり、手すりを使わないで2階に登れるようになった。
- ・ 姿勢に気をつけるようになり、背筋の張りが解消した。
- ・ 朝の便通がよくなった。
- ・ 正確なラジオ体操を知り、これから実行しようと思った。

まとめ

良かった点: 多くの参加者の方が、健康への効果を感じてくださり、地域の方の健康づくりとして役に立てたこと。

反省点: 血圧の測定をしたが、計測結果をうまくまとめることができなかった。

改善点: スタンプラリーカードの裏に血圧記入欄を作り、計測結果を分かりやすくすること。

4. 探究の GOAL

医療従事者のみの「チーム医療」だけでなく、

島民も含めた「チーム医療」の実現!